

NHKスペシャル

がん治療が変わる！～プレジジョンメディシンの衝撃～(仮)

11月20日(日)午後9:00～9:49 総合テレビ

日本人の2人に1人がかかる病、がん。

その治療が根底から変わろうとしている――

進行した大腸がんを患う48歳の男性。4度にわたる再発を繰り返し、手術不能とされていた。しかし、ある薬の投与によって腫瘍が43%も縮小した。投与された薬は皮膚がんの一種、メラノーマの治療薬。いま、こうした従来では考えられなかった投薬により劇的な効果をあげるケースが次々と報告されている。背景にあるのは、がん細胞の遺伝子を解析し、速やかに適切な薬を投与する「プレジジョンメディシン(精密医療)」だ。



日本では去年、国立がん研究センター東病院など全国200以上の病院と10社余りの製薬会社によって『SCRUM-JAPAN』と呼ばれるプレジジョンメディシンのプロジェクトが始動した。進行した肺がん

と大腸がんを中心に、がん細胞がもつ遺伝子変異を詳細に解析し、効果が期待できる薬を選び出して投与する。



プロジェクトにはこれまで3000人の患者が参加。このうち肺がんでは3分の1の患者に薬が効く可能性のある遺伝子変異が見つかり、100人ほどが実際に臨床試験に入っている。

プロジェクトに参加した患者に密着し、プレジジョンメディシンはがん治療をどう変えようとしているのか、がん患者とその家族に何をもたらすのか、その可能性と課題を探る。